

ジョージア州アトランタ市から南方へ車で約3時間の距離に第39代大統領ジミー・カーター氏の生まれ故郷 Plains があります。人口700人弱の小さな市ですが、現在、国立歴史地区に指定されています。位置的にアトランタ市のほぼ真下になるので、アトランタ市からの行き方としては、I-75 や I-85 の高速を利用する方法と、一般道でひたすら南下する方法があります。

さて、I-85 を利用した場合についてお知らせしますと、I-85 を南下し、I-185 経由で一般道に入つてから1時間程度南東に進むと Plains に差し掛かります。そこでは、市境を表す看板がピーナツと一緒に迎えてくれ(写真)、道中、道路を挟むように広がる綿畑は、車窓からの長閑な風景を演出するとともに、米国南部の歴史を感じさせてくれます。



Plainsに入ると、非常に穏やかでゆっくりとした時間が流れています。訪れたのが平日昼時だったせいか、人工的な音が競合しない、自然を感じることができる贅沢な空間が広がっています。ダウンタウンでは、お決まりの地名入りウォーター・タワー(給水塔：写真)の他、いくつかの店が建ち並び(Business District：写真)、カーター元大統領の選挙本部となつた鉄道駅(Plains Depot：写真)も保存されています。そこから北へ車で1分も行かない距離に、カーター夫妻も通つた Plains High School があり、現在はビジター・センター及び博物館として利用されています。



ここでは、カーター元大統領の経験や活動、そして生い立ち等について知ることができます。そしてさらに北へ進むと、Maranatha Baptist Church(写真)という教会があり、カーター氏が自宅に滞在する際は、日曜学校で教えることもあるとのことです。(カーター元大統領による日曜学校のスケジュールは、教会のウェブサイトで確認できます。



<http://www.mbcplains.org/> )

カーター元大統領の自宅は、Plains の中心から少し西へ行ったところにあります(一般非公開)、そこから更に西へ進むと、カーター元大統領が4歳から大学進学のため Plains を離れる 1941 年まで過ごした農場(Jimmy Carter Boyhood Farm)があります。この農場は、当時の自宅やトイレ、納屋、鍛冶屋等が 1938 年に電気が引かれる前の状態に復元されており、カーター元大統領の少年期の生活が垣間見れるとともに、この場所で大統領が育ったのかという感慨深い気持ちに浸りつつ、何か自分もその一部になった



ような不思議な気分になります。農場の入口には、農場内の遊歩道を整備した際、最後の仕上げとして地面に付けられたカーター元大統領の手形が日付とともに残されています。

(写真：奥に見えるのがカーター元大統領が子供の頃暮らしていた家屋です。)

最後に、今回昼食をとった Business District 付近にあるレストラン（写真）は、南部の雰囲気をそのままに、ハンバーガー等の他フライドグリーントマトをはじめとした南部料理（品数は少ない）も楽しめますので、試してみては如何でしょうか。



Plains 中心部からメイン・ロードである 280 号線を東方に約 0.3 マイル進んだところに State Welcome Center があるので、そこで情報収集を行った後、Plains を訪れるのがよいでしょう。